

令和8年度第1回太田市公共工事入札等監視委員会 次第

日 時： 令和8年6月22日（月）

委嘱状交付式終了後

場 所： 太田市役所10階 政策推進会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 委員及び事務局紹介

4 委員長及び副委員長の互選について

5 議 題

（1） 太田市の入札契約制度等について **【資料1】**

（2） 令和7年度入札・契約状況について **【資料2】**

（3） 令和7年度下半期入札契約の内容審査について **【資料3】**

- ・内容審査 No. 1：太田市運動公園陸上競技場公認更新改修工事
- ・内容審査 No. 2：地区舗装補修工事

6 その他

7 閉 会

令和8年度 第1回太田市公共工事入札等監視委員会 会議概要

開催日時	令和8年6月22日（月） 午後1時36分～午後3時10分
開催場所	太田市役所10階 政策推進会議室
出席者	[委員] 大島委員長、中村副委員長、湯澤委員、松本委員、長谷川委員 [事務局] 富田総務部長 ほかに5名

1 開 会

2 挨拶

「総務部長」

皆さんこんにちは。お世話になります。総務部長の富田と申します。ちょうどこの入札等監視委員会、3年ぶりに出席をさせていただいておりまして、ちょっと懐かしいなというところが実感でございます。

先程、市長から入札の適正化法に触れた話があったかと思います。今太田市として、入札の発注に向けましては、内部組織ではありますが、入札審査委員会というところで審査を踏まえて、その後に発注という形になってございます。入札適正化に向けて、今太田市としては当然、透明性なり公平性、そして競争性、これが適正化に向けての要諦であると考えておりますので、ぜひ監視委員会の皆様には、第三者的な中立的な視点から、太田市事業の監視評価をしていただければありがたいと、そんな風に思っております。

早速ですが、今日は太田市の現行の入札制度の関係と、昨年度の入札契約の状況、そしてその中から2点ほど工事を取り上げさせていただいて、内容の審査をいただく予定となっております。

いずれにしても、委員の皆様には慎重審議いただきまして、忌憚のないご意見等を出していただければ非常にありがたいと、そんな風に思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3 委員及び事務局紹介

4 委員長及び副委員長の互選について

委員長は大島委員、副委員長は中村委員に決定。

「委員長」

皆さん、ご賛同いただきましてありがとうございます。初めて委員長を務めるんですけど、新たに長谷川さんに加わっていただいて、そうそうたる面々で不甲斐ない委員長としては非常に心強いばかりでございます。皆さんの力添えをいただきながら、2年間全うして参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

4 議 題 (進行:委員長)

(1) 太田市の入札契約制度等について

太田市入札制度の基本方針

- ① 原則として、条件付一般競争入札による。
- ② 市内業者への優先発注とする。
- ③ 予定価格・最低制限価格は事前公表する。

令和8年度の主な変更点

- ① 社会保険等未加入業者の排除
- ② 等級格付けにおける評価項目に、若年・女性技術者の雇用状況を追加
- ③ 条件付一般競争入札の入札方式について、小規模型を廃止し通常型に一本化
- ④ 週休2日制現場の試行について、建築一式案件のうち、新築工事の中から「モデル工事」を選定し、「発注者指定型」による発注を予定
- ⑤ 余裕期間制度の本実施(最大 90 日を超えない範囲内で設定)

《 審議結果 》

委 員：週休2日制は、発注者指定型と受注者希望型の両方をやるのか。

事務局：全て発注者指定型での発注になります。

委 員：少額競争入札は昨年から上限金額が上がったが、担当課で発注する案件を監視する体制はあるか。

事務局：担当課発注案件は、毎月案件を取り纏め、入札審査委員会に報告しています。

(2) 令和7年度入札・契約状況について

◎令和7年度(実績)

◆入札・契約状況について (事務局より説明)

項 目	件 数	予定価格(円) (税抜き)	落札金額(円) (税抜き)	単純平均落札率	加重平均落札率 (対予定価格)
●競争入札 小計 (対前年比)	438 (94.40%)	6,755,160,000 (78.18%)	6,162,250,000 (75.33%)	86.57% (△1.47% 引)	91.22% (△3.45% 引)
条件付一般競争入札 (通常型)	386	6,546,550,000	5,978,960,000	86.21%	91.33%
うち総合評価方式	0	0	0	-	-
条件付一般競争入札 (小規模型)	51	190,120,000	169,420,000	89.50%	89.11%
指名競争入札	1	18,490,000	13,870,000	75.01%	75.01%
●随意契約 小計	11	230,840,000	225,100,000	97.26%	97.51%
うちコンペ又はプロポーザルによる契約	0	0	0	0.00%	0.00%
合 計 (対前年比)	449 (94.93%)	6,986,000,000 (78.26%)	6,387,350,000 (75.47%)	86.83% (△1.40% 引)	91.43% (△3.38% 引)

◆くじ引きによる落札件数の状況（事務局より説明）

種 別		令和7年度	令和6年度
工 事		60.1%	46.7%
業務委託	建設コンサルタント	38.9%	21.6%
	役務	96.7%	82.8%
	うち樹木剪定等	97.2%	81.0%
	業務委託 計	83.5%	69.6%
合 計		68.4%	55.0%

◆入札不調の状況（事務局より説明）

区分	業種	不調件数
建設工事	土木一式	1
	建築一式	3
	管	1
	電気通信	2
	解体	3
合 計		10

《 審議結果 》

委 員：令和6年度と比較して案件が全体的に減った理由は何があるか。

事務局：担当課で発注できる金額の上限が上がったため、契約検査課発注案件が減ったことが要因のひとつと考えられます。

委 員：全体の件数に対して市内業者の落札が約90%であるが、入札参加資格要件で市内業者を指定しているからなのか、それとも地域を指定しなくても市内業者となるのか。

事務局：ほぼ市内業者を指定した発注です。

委 員：10～12月の不調が多いが、年度始めは発注が難しいのか。

事務局：年度当初の第1回の入札で発注しても、入札手続きが1ヵ月程度かかるため、着手は5月上旬になってしまうのが現状です。また、ゼロ債務負担行為を活用することで、年度当初からの発注は可能です。

委 員：樹木管理や除草等の契約について、太田市は複数年契約に見直す考えはあるか。

事務局：複数年契約については、期間の設定をどのくらいでやるべきか等課題があります。また、指定管理など様々な手法もあり、それらを総合的に勘案しながらやり方を決めていくべきであると考えております。今後、事業担当課と調整しながら進めていければと考えております。

委 員：くじ引きはどのようにやるのか。また、くじ結果は次のくじに反映されず、落札業者が連続になることはあり得るのか。

事務局：くじ引きは、電子入札システムの中で実施されます。くじ引きはランダムのため、落札業者が連続になることはありますが、1回落札した業者は他の案件で落札できないという条件を設定して入札を行う場合もあります。

(3) 令和7年度入札契約の内容審査について

◆内容審査 No. 1 : 太田市運動公園陸上競技場公認更新改修工事

●発注概要・経過 (事務局より説明)

[経緯説明]

太田市運動公園陸上競技場につきましては、公認競技会を開催し得る施設として日本陸上競技連盟が定める第3種の公認競技場として認定を受けております。その有効期限は5年となっており、継続して公認を受けるためには、令和8年3月31日までに更新検定を受けて合格する必要があります。本工事は、第3種の公認競技場の更新検定に必要なトラック等の劣化部分の改修を行い、あわせて日本陸上競技連盟の検定を受け合格となることを条件とするものでございます。入札方法は条件付一般競争入札、予定価格と最低制限価格は原則どおり事前公表となっております。

公認陸上競技場は第1種から第4種まであり、第3種で開催できる競技会の種別の標準は、加盟団体陸上競技選手権大会等、主な競技会で、具体的には、都道府県大会、地区（ブロック）大会、市区町村大会、高校・中学などの公式記録が認められる大会が実施できるものとなっております。

施工内容の主なものとしては、ウレタンの切削オーバーレイ、トラックとフィールドのウレタンの洗浄、砲丸落下位置の不陸整正、棒高跳支柱台の改修、レーン・ラインの引き直しなどとなっております。

過去の発注状況は、5年に1回概ねこの改修があるということで、平成20年につきましては、条件付一般競争入札による発注を行っております。地域要件は、県内に本社又は営業所のある業者、実績要件は、第3種公認陸上競技場以上の改修工事の元請又は下請施工実績を有する業者として条件の設定をしておりました。また、平成25年度につきましては、指名競争入札による発注を行っております。指名をするにあたりまして、過去に県内陸上競技場の第3種以上の公認更新改修工事の実績又は太田市運動公園陸上競技場改修工事の応札実績があり、県内に本社又は営業所のある業者を7者指名したところでございます。平成30年につきましては、陸上競技場の全体の改修に含めて、こちらのトラックの改修を行ったものでございまして、担当課によるプロポーザルで複数の候補者から企画・提案を募り、最も優れた提案者を選定する手法により受注者の選定をしておりました。

本工事の入札公告の入札参加資格要件は、(1)太田市入札参加資格者名簿の建設工事「舗装」に登録がある業者であること、(2)太田市認定の等級格付けが「舗装A等級」であること、(3)地域要件はありません。本来、市内業者優先発注になりますが、県外業者まで参加可能としております。(4)実績要件として、平成22年度以降に、日本陸上競技連盟の定める第3種以上の公認更新に係る元請施工実績または下請の施工実績を有すること、(5)技術者の配置要件として、建設業法に規定する主任技術者を配置できること、としております。さらに、予定価格と最低制限価格の両方とも事前公表としておりますので、金額がそれぞれ記載されています。

今回、入札方式や入札参加資格要件を検討するにあたって、日本陸上競技連盟の厳しい施設基準をクリアするための高精度の施工技術を持った専門の舗装業者が市内、県内にはいないため、市内、県内業者が受注した場合については、専門業者を下請けに入れて施工させる必要があります。それから、検定更新に間に合わせるために、緻密な工程管理が必要なため、過去に実績のある業者を選定する必要があります。以上のことを踏まえまして、直接施工できる業者は市内、県内にはいませんが、過去に元請施工実績のある業者については一定数おりまして、さらに、地域要件を広げることによりまして、直接施工できる業者も応札可能とすることにより、品質と競争性を確保できることから、指名競争入札ではなく、原則どおり条件付一般競争入札による発注としたところでございます。

入札結果になりますが、13者の参加申請があり、5者辞退、8者の応札がありまして、7者のくじ引きにより、最低制限価格の3056万円で、日本道路㈱ 群馬営業所が落札をいたしました。落札率は、90.25%でした。内容審査1の説明は以上となります。

内容審査 No.1		発注形態	条件付一般競争入札 (事後審査型)	
案件名	太田市運動公園陸上競技場公認更新改修工事		履行場所	太田市飯塚町 1059 番地 1 地内
概 要	全天候型舗装切削・オーバーレイ、一部補修工一式、砲丸落下域整備工一式、棒高跳支柱台改修工一式、レーンマーキング塗布工一式、3 種公認更新手続き一式			
契約年月日	令和 7 年 12 月 1 日			
履行期間	令和 7 年 12 月 2 日～令和 8 年 3 月 18 日			
予定価格	33,860,000 円 (税抜き)			
落札価格	30,560,000 円 (税抜き)		落札率	90.25%
契約の相手方	所 在 地	群馬県太田市新田反町町 1 7 4 - 1		
	名 称	日本道路 (株) 群馬営業所		
	代表者名	営業所長 金子 明浩		
入札結果	●13 者が参加申請、5 者が辞退、8 者による入札 (最低制限価格で応札した 7 者によるくじ引きにより決定)			

《 審議結果 》

委 員：公認競技場としての認定の有効期限が 5 年で、今までの発注状況をみると、平成 20 年、平成 25 年、平成 30 年とあるが、令和 5 年の時は工事をしなくても認定を受けられたのか。

事務局：平成 30 年の全体改修工事の施工期間が長かったため、認定の有効期限は令和 8 年 3 月 31 日となっております。

委 員：更新検定は、必ず工事をしなくても認定を受けられるのか。また、更新検定に合格するために、工事が必要かどうかの判断は、誰が決定するのか。

事務局：トラックの状況等により、工事は必ずしも必要ではないと思います。ただ、検査は厳しいと聞いております。工事が必要かどうかの判断は、陸上競技連盟等に確認のうえ、最終的に担当課が行います。

◆内容審査 No. 2：地区舗装工事

●発注概要・経過 (事務局より説明)

[経緯説明]

地区舗装工事は、市内を 15 地区に分け、各地区を 3 年に 1 回、舗装補修の重点地区として地元からの要望に基づき行う舗装工事であります。地区舗装工事は工事箇所数が多く、地区との調整を円滑に行う必要があることから、従来より近隣の業者を 10 者程度、舗装に登録のある A ランク業者を選定し、指名競争入札を行っていましたが、令和 6 年度の応札状況を鑑み、令和 7 年度より、本市の原則どおり、条件付一般競争入札による発注へ見直しを行ったところでございます。令和 6 年度の指名競争入札の入札結果では、藪塚西部・東部地区につきましては、それぞれ指名 10 者中応札が 9 者、6 者と応札状況は良かったのですが、沢野地区は指名 11 者中 9 者が辞退、太田地区については、指名 11 者中 10 者辞退で、1 者のみの応札となったため中止となりました。箇所数が多く、区長との調整や地元への広報などの、通常の舗装工事に比べると手間がかかるということで、若干敬遠されているのではないかと考えられます。

令和 7 年度の地区舗装工事を条件付一般競争入札で発注するにあたっての主な入札参加資格要件は、舗装に登録のある業者、A ランク業者、市内への発注、主任技術者が配置できることとしておりまして、特別な要件等は設定しておりません。

令和 7 年度の入札結果を見ますと、すべて 10 者以上の参加申請がありまして、辞退も多少ありましたが、すべて 5 者以上の応札となっております。また、すべての案件において、ほぼ同じ業者が入札参加している状況でありました。ちなみに入札参加資格者名簿の舗装に登録がある業者で A ランクの市内業者は 23 者ありまして、そのうち参加申請したのは 12 者でありました。発注時期が年末近くで業者も手持ち工事が多くなる時期ということで、若干応札も少なかったものと考えますが、条件付一般競争入札による発注でも十分競争性を確保し、適正な執行ができたものと考えております。

内容審査 2 の説明は以上となります。

令和7年度地区舗装工事入札結果一覧（条件付一般競争入札）

1	履行名称	尾島地区舗装補修工事		
	履行概要	施工延長 L=903.5m W=2.5~6.3m A=3425.7m ² 、上層路盤工 A=1405.7m ² 、表層工 A=3425.7m ² 、区画線工一式、土工一式		
	予定価格	23,320,000 円 （税抜き）	参加申請者数	12
	落札金額	20,860,000 円 （税抜き）	辞退	6
	落札率	89.45%	*取扱対象外	1
	落札業者	西村興業株式会社	応札	5
2	案件名称	荊川地区舗装補修工事		
	履行概要	施工延長 L=1694.5m W=1.9~6.7m A=6717.8m ² 、土工一式、舗装工 A=783.5m ² 、舗装打換工 A=4743.3m ² 、切削オーバーレイ工 A=1201.0m ² 、区画線工一式		
	予定価格	44,770,000 円 （税抜き）	参加申請者数	11
	落札金額	40,250,000 円 （税抜き）	辞退	4
	落札率	89.90%	*取扱対象外	0
	落札業者	小林興業株式会社	応札	7
3	案件名称	宝泉地区舗装補修工事		
	履行概要	施工延長 L=1877.0m W=1.8~8.7m A=7407.6m ² 、土工一式、舗装工 A=1238.1m ² 、舗装打換工 A=5011.6m ² 、オーバーレイ工 A=1157.9m ² 、区画線工一式		
	予定価格	43,080,000 円 （税抜き）	参加申請者数	10
	落札金額	38,730,000 円 （税抜き）	辞退	4
	落札率	89.90%	*取扱対象外	0
	落札業者	工藤建設工業株式会社	応札	6
4	案件名称	毛里田地区舗装補修工事		
	履行概要	施工延長 L=1546.6m W=2.5~3.8m A=4952.9m ² 、土工一式、舗装工 A=1408.3m ² 、舗装打換工 A=2991.6m ² 、切削オーバーレイ工 A=553.0m ² 、区画線工一式		
	予定価格	33,860,000 円 （税抜き）	参加申請者数	11
	落札金額	30,370,000 円 （税抜き）	辞退	3
	落札率	89.69%	*取扱対象外	2
	落札業者	協和建設株式会社	応札	6
5	案件名称	綿打地区舗装補修工事		
	履行概要	施工延長 L=1275.3m W=1.6~6.5m A=3967.4m ² 、上層路盤（t=15cm）A=1619.9m ² 、舗装工（t=5cm）A=3343.4m ² 、切削オーバーレイ工（t=5cm）A=624.0m ² 、区画線工一式		
	予定価格	27,890,000 円 （税抜き）	参加申請者数	10
	落札金額	24,970,000 円 （税抜き）	辞退	2
	落札率	89.53%	*取扱対象外	2
	落札業者	加藤建設興業株式会社	応札	6

*取扱対象外：同工種、同ランク案件が同日開札日において複数ある場合、該当案件の落札候補者になった場合はもう1案件の落札候補者にならないため無効となる。

《 審議結果 》

委 員：辞退している業者は、入札参加申請をして、入札する段階で止めるということか。

事務局：入札参加申請をしないと応札できないのでとりあえず申請をして、内容確認や積算等をした結果、入札前に辞退することになります。辞退理由は、技術者の配置ができない、金額が合わないなど、いろいろな事情があると考えます。

5 その他 (特になし)

6 閉 会

《総務部副部長》

長時間にわたりまして、ありがとうございます。まずは大島委員長につきましては、スムーズな議事進行ありがとうございました。委員の皆さんから率直な意見をいただきまして、非常に参考になる部分もございますので、ありがたいと思っております。参考までに、今、6月の定例会をやっておりまして、「中東情勢を見据えた本市の行財政運営とリスクマネジメントについて」ということで、入札の影響についての質問が出ておりまして、総務部長が答弁しているところです。これはホルムズ海峡の影響で、やはり原油の問題があって資材価格が上がったりとか、物が届かないというような事案がけっこう散見されてきているので、今後の入札に関しても非常に心配な部分がございます。覚書が交わされたからといって本当に終結かどうかはわかりませんので、引き続きこれらについては、受注者の不安解消というのが肝なのかなと思ってます。今回の入札監視委員会に関しましては、その部分は直接影響するものではないのですが、我々の入札制度がきちんとクリアなものであることが大前提であると思ってますので、仕事を請け負って、きちんと仕事ができるような環境をこれからも整えていきたいなと思っておりますので、どうぞ引き続きご指導のほどよろしくお願いしたいと思います。